



沖縄県では、令和元年度海外インターンシップ事業において、アジアを中心に海外企業での就業体験等を実施することにより、国内外へ就業機会を自ら獲得する「積極性とチャレンジ精神」を醸成するため、以下の海外インターンシップを実施します。多くの学生の応募をお待ちしております。

募集要項

語学力
不問

海外短期インターンシップ

対象 1～4年生 期間 10日間程度 派遣者数(予定) 合計96名

対象 県内大学生、短期大学生、専門学校生、高等専門学校生。語学力不問。

派遣期間 ①夏期 令和元年8月25日(日)～9月3日(火)
②春期 令和2年2月23日(日)～3月3日(火)

研修内容 就業体験、現地学生交流、日系企業訪問、県人会、フリーリサーチ等

海外中期インターンシップ

対象 2～4年生 期間 1ヶ月程度 派遣者数(予定) 合計10名

対象 県内大学生、短期大学生、専門学校生、高等専門学校生。
日常会話程度の語学力を有する者。

派遣期間 ①夏期 令和元年8月～9月中旬
②春期 令和2年2月～3月中旬

研修内容 1ヶ月の就業体験 (上記期間内、1ヶ月程度)

派遣先 ①台湾 ②香港 ③ベトナム[ホーチミン・ダナン] ④マレーシア ⑤シンガポール 等

※派遣国で事件、事故、災害等が発生した場合、派遣の中止、変更及び研修中の帰国もあります。

夏期募集

受付期間 令和元年 5月13日(月)～6月14日(金) 17時まで

事業説明会 令和元年 5月29日(水)・30日(木)
6月3日(月)・4日(火)

春期募集

受付期間 令和元年 11月1日(金)～11月29日(金) 17時まで

事業説明会 令和元年 11月13日(水)・14日(木)
18日(月)・19日(火)

場所：琉球大学産学官連携棟2F 時間：18:30～(各回共通) 対象：県内大学生、短期大学生、専門学校生、高等専門学校生

現地宿泊費補助

研修派遣国では、日本人スタッフが研修をサポートするので安心です。 ※食費・渡航費等は自己負担となります。

応募方法

ホームページから直接エントリーして下さい。エントリーできない場合は事務局にお問い合わせ下さい。

エントリー先 [沖縄県海外インターンシップ kaigai-job.com](http://kaigai-job.com)



ホームページ



Facebook

お問い合わせ

大学生等海外インターンシップ事務局 [(株)沖縄ヒューマンキャピタル内]
【営業日】月～金(9:00～12:00/13:00～18:00) 【休日】土日祝日・年末年始
【運営】(株)沖縄ヒューマンキャピタル・(株)日本旅行沖縄・(株)サン・エージェンシー

TEL.098-895-1702
FAX.098-917-0025
info@okinawa-hc.com

沖縄県があなたの海外インターンシップを応援します! 本事業は沖縄県による事業です。

令和元年度「大学生等海外インターンシップ事業」
[沖縄振興特別推進交付金活用事業]



海外 短期 中期 インターンシップ

視野を広げたい人!
変わりたい人!

INTERVIEW BOOK

体験者インタビューブック



沖縄県では、令和元年度海外インターンシップ事業において、アジアを中心に海外企業での就業体験等を実施することにより、国内外へ就業機会を自ら獲得する「積極性とチャレンジ精神」を醸成するため、以下の海外インターンシップを実施します。多くの学生の応募をお待ちしております。

募集要項

語学力
不問

海外短期インターンシップ

対象 1～4年生 期間 10日間程度 派遣者数(予定) 合計96名

対象 県内大学生、短期大学生、専門学校生、高等専門学校生。語学力不問。

派遣期間 ①夏期 令和元年8月25日(日)～9月3日(火)
②春期 令和2年2月23日(日)～3月3日(火)

研修内容 就業体験、現地学生交流、日系企業訪問、県人会、フリーリサーチ等

海外中期インターンシップ

対象 2～4年生 期間 1ヶ月程度 派遣者数(予定) 合計10名

対象 県内大学生、短期大学生、専門学校生、高等専門学校生。
日常会話程度の語学力を有する者。

派遣期間 ①夏期 令和元年8月～9月中旬
②春期 令和2年2月～3月中旬

研修内容 1ヶ月の就業体験 (上記期間内、1ヶ月程度)

派遣先 ①台湾 ②香港 ③ベトナム[ホーチミン・ダナン] ④マレーシア ⑤シンガポール 等

※派遣国で事件、事故、災害等が発生した場合、派遣の中止、変更及び研修中の帰国もあります。

夏期募集

受付期間 令和元年 5月13日(月)～6月14日(金) 17時まで

事業説明会 令和元年 5月29日(水)・30日(木)
6月3日(月)・4日(火)

春期募集

受付期間 令和元年 11月1日(金)～11月29日(金) 17時まで

事業説明会 令和元年 11月13日(水)・14日(木)
18日(月)・19日(火)

場所：琉球大学産学官連携棟2F 時間：18:30～(各回共通) 対象：県内大学生、短期大学生、専門学校生、高等専門学校生

現地宿泊費補助

研修派遣国では、日本人スタッフが研修をサポートするので安心です。 ※食費・渡航費等は自己負担となります。

応募方法

ホームページから直接エントリーして下さい。エントリーできない場合は事務局にお問い合わせ下さい。

エントリー先 [沖縄県海外インターンシップ kaigai-job.com](http://kaigai-job.com)



お問い合わせ

大学生等海外インターンシップ事務局 [(株)沖縄ヒューマンキャピタル内]
【営業日】月～金(9:00～12:00/13:00～18:00) 【休日】土日祝日・年末年始
【運営】(株)沖縄ヒューマンキャピタル・(株)日本旅行沖縄・(株)サン・エージェンシー

TEL.098-895-1702
FAX.098-917-0025
info@okinawa-hc.com

沖縄県があなたの海外インターンシップを応援します! 本事業は沖縄県による事業です。

令和元年度「大学生等海外インターンシップ事業」
[沖縄振興特別推進交付金活用事業]



海外 短期 中期 インターンシップ

視野を広げたい人!
変わりたい人!

INTERVIEW BOOK

体験者インタビューブック

一步踏み出す勇気が、未来を変える!



学生交流



県人会交流

行政訪問



会社訪問



フリーリサーチ



■事業目的

海外インターンシップとは、県内大学生、短期大学生、専門学校生、高等専門学校生を対象にグローバルな職業観の醸成と積極性の向上を図るため、アジアを中心に事業展開を行っている日本人経営者等の下で、短期インターンシップ(9泊10日)及び中期インターンシップ(1ヶ月)の就業体験等を行うプログラムです。

海外短期インターンシップでは、積極性やチャレンジ精神を醸成、海外中期インターンシップでは、海外ビジネスや異文化を学び将来は、沖縄県の発展に貢献できるグローバル人材の育成を目的としています。

グローバル人材の育成

海外中期(海外ビジネス・異文化理解)

海外短期(積極性・チャレンジ精神の向上)

H24～H30年度の実績

海外インターンシップ派遣実績 853名

短期インターンシップ派遣者数 **813名** 中期インターンシップ派遣者数 **35名**

主な派遣先(実績)

派遣先は、観光業・IT・物流など業種・職種は多岐にわたります。



ベトナム

ホーチミン/ダナン

真面目で勤勉、向上心の高い国民性が評価され、現在のベトナムは人財の宝庫と言われ、世界中から多くの企業が進出しています。



シンガポール

急激な経済成長が予測されるアジア諸国のハブとしての機能を有するため、世界中から多くの企業が進出しています。



マレーシア

安定した経済成長が見込め、天然ガスなどの資源にも恵まれているため、東南アジアの優等生と評価され、継続的な投資により将来性が有望視されています。



香港

古くからアジアにける交通・金融・流通の要所であり、人口は700万人を超え、長期滞在の日本人は約2万人を数えます。



台湾

沖縄から近く、20世紀後半からは急速な経済発展を遂げ、ハイテク産業などにおいて国際的な企業も生まれています。

海外短期インターンシップ

海外短期インターンシップとは、県内の大学生、短期大学生、専門学校生、高等専門学校生などの学生を中心に、9泊10日の予定で海外の企業等にて、就業体験や会社訪問等を行うプログラムです。その中には、現地の学生との交流や日系企業経営者との懇談会などアジアを体感できる多彩なプログラムがあります。平成24～30年度までの参加者は、実に813名にのぼり、帰国後は、その経験を糧に自分の夢や目標に向かい新たなスタートを切っています。



●主な派遣先

【台湾】

製造・貿易・親日国(中国語)
東呉大学、旅行社、行政、IT企業、コンサル業、県人会。

【香港】

金融・物流ハブ(英語・広東語)
香港理工大学、マーケティング会社、金融保険業、飲食業、行政。

【ベトナム(ホーチミン)】

商業都市(ベトナム語)
ホーチミン師範大学、幼稚園、孤児院、不動産業、コンサル、貿易業、県人会。

【ベトナム(ダナン)】

観光都市(ベトナム語)
ダナン外国語大学、旅行業、ホテル業、レンタカー業、製造業、IT業。

【マレーシア】

製造、IT、多民族国家(マレー語、英語)
マラヤ大学、日本語学校、サービス業、人材紹介IT企業、コンサル業、出版、県人会。

【シンガポール】

金融、貿易、交通ハブ(中国語、英語)
南洋理工大学、マーケティング会社、物流、IT業、飲食業、行政、県人会。



山城さん

琉球大学
工学部 2年次
派遣先 香港

『自分が何をしたいのかじっくり考える』

この研修で一番印象に残ったのは、香港で働く人々の考え方だ。日本では、一度入った会社で一生勤める人も多いが香港では、転職して様々な経験をする事によって、自分のキャリアをつくるという考え方が一般的である。

また、入社する際も香港には日本のように決まった入社時期が設定されておらず、大学生が焦って就職先を探すようなことはない。そのため、**自分が何をしたいかをじっくり考える時間があり、意味のない転職をせずに済む。**このような自由な発想は、様々な文化が共存し、効率を重視する香港だからこそ出てくるのではないかと思った。



喜屋武さん

琉球大学
国際地域創造学部 1年次
派遣先 ベトナム(ダナン)

『人間としての本来の力』

海外研修の感想を一言で表すと「刺激」にあふれた10日間だった。フリーリサーチで訪問したベトナムの少数民族の村では、現地の方々の温かいおもてなしや自給自足の生活を体験したことで、自分がいかに何もできなくて、日常生活が便利なものであふれており、それに頼っているということに気づかされた。彼らとの交流は、「**人間としての本来の力**」がどういうものなのか、「**もてなす心**」とは何かということに気づかされた。一度きりの人生を輝かせながら、将来の夢を実現していこうと思った。



玉城さん

琉球大学
国際地域創造学部 1年次
派遣先 ベトナム(ホーチミン)

『投資と浪費』

現地の学生は、スキルアップのために、貪欲に学び、社会人(一年目)から即戦力として働くために勉強していた。

企業訪問では、「**投資と浪費**」ということを学んだ。「これからの大学生活をどうするのか?」、「研修参加前と同様に時間やお金を浪費するのか?」と自問自答する機会となった。

研修参加後は、「**投資と浪費**」という考え方が凄く身についたと思う。大学を手段として考え、「**自分自身に投資**」して生きていこうと思った。



大屋さん

琉球大学
農学部 2年次
派遣先 シンガポール

『大学の専門分野を極める』

この研修を通して仕事に対する認識が変わった。私はこれまで仕事というのは大変で、嫌々ながらやるイメージだった。しかし、海外で働いている人たちは、皆な活き活きとしてすごく輝いて見えた。それは彼らが仕事にやりがいを持ち、楽しもうという姿勢を持っていたからだ。

研修を通して海外でも長寿の関心が高まっていることや、大人になって初めて健康のありがたさに気づくという言葉聞き、**私が今学んでいることは、価値があるものだという自信がついた。**そして、その専門分野を極めて仕事までつなげていこうと思った。



照屋さん

琉球大学
国際地域創造学部 1年次
派遣先 台湾

『最高の仲間』

私がこの研修で得たものは、かけがえのない仲間でした。事前研修で仲は良くなりましたが、まだ言いたいことが言えない関係でした。海外研修の中盤、メンバー全員が集まり、改善点を話し合う機会を設け、**お互い言いたいことを本音で言い合い、翌日からは、皆の研修に取り組む姿勢が変わったことで、充実した研修となりました。最高の仲間**に変わった瞬間でした。



金城さん

琉球大学
農学部 1年次
派遣先 シンガポール

『運のいいやつは動くやつ!』

海外研修では、たくさんの言葉をいただきました。「行きたいところには行ったか?」、「やりたいことはやったか?」、「失敗を恐れていないか?」、「怒られてもいい、ただし怒られた理由を考えろ!」、「当たり前を疑え!」、「HUNGRY精神を持て!」、「経験が価値観を変える!」、「SHOULDをMUSTにする!」、「常に初心者でいること!」、「好きなことをやる!それが点となり、いつか線となり、形になる!」、「最後に、かけがえのない財産となった言葉は、「**運のいいやつは動くやつ!**」、さあ次はあなたの出番だ!

**保里さん**

沖縄国際大学
産業情報学部 1年次
派遣先 香港

『人間的な成長と自信』

私はこの研修を通して本当に多くのことを学びました。人間的にも成長したと思うし、知識や経験も増えました。何より研修前に比べ、自分に自信がつけました。

これから、社会はどんどん変化していく。その中で海外を知れたことは本当に大きいと思う。また、海外の街や人と接し、海外の良さを知ったからこそ沖縄の良さを改めて感じる事ができ、沖縄がより好きになりました。

私は、この研修に参加して本当に良かった。

**金城さん**

琉球大学
法文学部 2年次
派遣先 ベトナム(ホーチミン)

『感謝』

私はこの研修を通して学んだことは大きく3つある。第1に当たり前前の状況に感謝すること、第2に思い立ったら恐れずにチャレンジすること、第3に自分の強みと弱みを理解することだ。この研修では、社会人基礎力も向上し、コミュニティーも広がり、価値観も大きく変わった。

今後、この経験を活かして直感で行動し、自己変革を積極的に行い、**今与えられた環境に感謝し、自己投資を重ね、来年は海外留学にも挑戦したい。**

沖縄県をはじめ本事業の関係者の皆様、本当にありがとうございました。

**崎山さん**

沖縄国際大学
経済学部 2年次
派遣先 マレーシア

『目標を達成する力』

この研修を通して成長した点は、積極的に多くの人とコミュニケーションをとれるようになったことだ。研修前は、あまり人とコミュニケーションをとらず、他人に興味を持たない性格でした。しかし、本研修の中で積極的にチームメンバーや他の人とコミュニケーションをとることで、他人への興味も沸き、何より人脈の広がりにつながった。

この研修を通して学んだ「コミュニケーション力」が、これからの自分の夢や目標を達成する力になると信じ、何事にも挑戦していきたい。

**島尻さん**

名城大学
国際学群 1年
派遣先 ベトナム(ホーチミン)

『チーム活動を克服』

私は、自分の思いや考えを伝えることが苦手で、学校のチーム活動や課題は、皆で取り組むよりは、自分ひとりで片づけてしまうことが多かった。

この研修では、チームでの取り組みが多く、その活動を通して、苦手を克服し成長を感じることができた。

また、海外研修で得たものは、物事の本質を自分の目で見て感じる事の大切さや、自分ができると求められていることについて考える良い機会となった。

このような経験は決して一人ではできない、このチーム活動に参加したから得られた貴重な体験であった。

**赤嶺さん**

沖縄国際大学
産業情報学部 1年次
派遣先 シンガポール

『失敗は怖くない』

海外研修ではたくさんの刺激を受けました。特に以下の2つの言葉が印象的でした。

1つ目は「常識を疑う」という言葉で、「ただ言われたからやる、みんながやっているからやる」では、成長はありません。自分で検証する事で本質が見え、自分自身の成長につながる。

2つ目は「失敗したことが多すぎて思い出せない」という言葉で、それは「**目標を達成できない人は、失敗を悩み続けるが、目標を達成できる人は、失敗を二度としない為の対策を考える**」ということでした。失敗は怖いものではないことを学びました。

**米須さん**

沖縄国際大学
総合文化学部 1年次
派遣先 ベトナム(ホーチミン)

『自己選択の姿勢』

今回、多くの企業訪問や職場体験を経験する中で、海外で働く方々には2つの共通点があった。

1つは「ハイリスク、ハイリターン」の姿勢、現状に満足せず、常に挑戦する姿勢を持っていたこと。

もう一つは「**自己選択の姿勢**」、「**自分のことは自分で決める**」ということだ。ただ海外で働くという抽象的な考えではなく、目的や目標を明確に持ち、その目標を達成するための選択は、自身の判断と責任で決定していた。

それは、単にハウツー本を読み1つの正解を求めるのではなく、自身の経験を通して、自分なりの答えを見つけ、それをもとに「自己選択」しているということだった。

**金城さん**

沖縄大学
法経学部 1年
派遣先 台湾

『達成感と今後の課題』

私は面倒くさいと思えば、すぐに楽な方へと逃げてしまう性格で、「そんな自分を変えたい!」との思いで、この研修に参加した。

事前研修では、派遣国の知識やビジネスマナーを身に付けるだけではなく、チームの仲間とコミュニケーションをとりながら、一つ一つの課題に挑戦していく中で、大きな達成感を味わうことができた。

海外研修では、「自分が将来どうなりたいのか?」、「これから、どうしていけばいいのか?」について考えさせられた。そして、自分の知識不足や語学力など、多くの課題も見えたので今後、自己研鑽に励んでいきたい。

**平尾さん**

沖縄キリスト教短期大学
英語科 1年次
派遣先 ベトナム(ダナン)

『百考は一行に如かず』

研修を受けて、私は「行動しなければ何も始まらない」ということを学んだ。当たり前のことだが、頭で考えるだけでは何も起こらない。考えや意見があるのならそれを誰かに伝えるアクションを起こすことが大事だ。

研修前は、チームの人と交流を積極的に取らなかつたり、「どうせ何を言っても意見が通らない」と最初から諦めていた。

しかし、実際に海外研修では「アクションを起こすことが、いかにその先の結果に繋がるか」ということを身をもって実感できた。今後は「百考は一行に如かず」という言葉を大切にしていきたい。

**新垣さん**

専門学校日経ビジネス
国際英米学科 1年次
派遣先 シンガポール

『最高の出会いを大切に!』

私がこの研修に参加したのは、「①将来やりたいことを見つけたい」、「②今の自分を変えたい」、「③人脈を広げたい」という三つの理由からでした。

私自身、この研修で多くの人に出会い「ネガティブ思考からポジティブ思考」に変化し、積極的に人とコミュニケーションを取るようになった。

私たちよりもたくさんの経験をしている方々の話はとても貴重だ。自ら積極的に質問し情報を引き出し、それを糧に自分のやりたいことやモチベーションを上げていくことができるようになった。

**比嘉さん**

沖縄女子短期大学
総合ビジネス学科 1年次
派遣先 シンガポール

『周りから尊敬される人材に!』

今回、海外短期インターンシップに参加して自分を見つめ直すことができ、視野が広がりこれからの目標が定まった。グループワークを積み重ねていくうちに、以前の私と比べて発言も増え、消極的な所を少し克服できた。

実際の企業訪問では、多くの人と出会い多くの知識を得ることができた。どの企業の方もいろいろな失敗をしながら今の仕事を楽しんでた。私もいろいろな経験を積み重ね、周りから尊敬されるような人材になりたい。

海外中期インターンシップ

海外中期インターンシップとは、県内の大学生、短期大学生、専門学校生、高等専門学校生などの学生を中心に、1ヶ月の予定で海外の企業にて、就業体験をするプログラムです。

平成28~30年度は、35名の学生が参加しました。

**●主な派遣先****【台湾】**

近隣親日国(中国語、英語)
旅行業、行政。

【香港】

金融・物流ハブ(広東語、英語)
旅行業、行政。

【ベトナム(ホーチミン)】

商業都市(ベトナム語)
幼稚園、日本語学校、不動産業、スポーツクラブ。

【ベトナム(ダナン)】

観光都市(ベトナム語)
旅行業。

【マレーシア】

多民族国家(英語、マレー語)
ランゲージセンター、出版業、ビザ代行業、飲食系コンサル業。

【シンガポール】

金融、貿易、交通ハブ(英語、中国語)
出版、イベント業、飲食業、行政。

**海外短期インターンシップ Q&A****Q1 海外短期インターンシップに参加した学生の「動機・課題」は何ですか?**

- A1**
- ① 視野を広げたい。
 - ② コミュニケーション能力を上げたい。
 - ③ 大学、バイト、家の繰り返しで、学生生活を充実させたい。
 - ④ 将来何をしたいのかわからない、今の不安を解決したい。
 - ⑤ 対人関係が何が苦手なので、それを克服したい。

Q2 海外短期インターンシップに参加後、何か変わったのでしょうか?

- A2**
- ① 海外で様々な体験をすることで、五感を通して視野が広がった。
 - ② インプットやアウトプットの機会が多く、コミュニケーション能力が向上した。
 - ③ 多様な価値観や生き方をすると出会い、自分もやりたいことが増えてきた。
 - ④ 学生交流、会社訪問、職場体験を通して将来の進路のヒントが得られた。
 - ⑤ チーム活動や多くの人と接することで、人間関係の構築に自信がついた。

Q3 海外短期インターンシップでは、どのように派遣国のチーム分けするのですか?

- A3**
- ① エントリーシートの希望国を参考にチーム分けをしています。
 - ② チームは、男女バランス、大学バランスをみながら6名単位で編成します。
 - ③ チームリーダー及びサブリーダーは、チームメンバーにより選定します。
 - ④ チーム研修を通して、「一生の仲間」になることも期待できます。

Q4 はじめての海外で英語もできないのですが参加できますか?

- A4**
- ① 原則、海外の研修先や学生交流は、日本語ができる環境で行います。
 - ② 海外研修は、個人ではなくチームで活動するので安心です。
 - ③ 海外では、日本語のできる現地担当者が研修生をサポートします。
 - ④ 事務局からチームへ携帯電話やWifiルーターを支給するので安心です。

**平良さん**

琉球大学
工学部 4年次
派遣先 マレーシア
研修先 WEB制作

『苦手なことに挑戦しよう!』

以前の私は就職先について深く考えたことはなく、学科の先輩が就職したところでも就職すればいいという考えでした。

しかし、今は、もっと社会のことを知り、現在求められている人材や自分の将来やりたいことについて真剣に考えるようになりました。また、社会人の礼儀作法、上司とのコミュニケーション、計画性の課題にも気づき、今後改善していきたいと思う。

後輩の皆さん、苦手なことに挑戦して欲しい。その挑戦から新たな発見があり自信につながったりする。価値ある1ヶ月にするために何にでも挑戦して欲しい。

**西平さん**

琉球大学
法文学部 4年次
派遣先 香港
研修先 観光

『可能性を広げた1ヶ月』

この1ヶ月を通して、得たものは「沖縄観光の可能性」と「自分の将来の可能性」の広がりでした。

現地では、旅行会社との取引や個人客を相手にしたイベントへの参加、観光客の情報収集や市場動向の分析等を行ってみて、今後の「沖縄観光の可能性」について深く知ることができました。

また、自分の中でやりたいことはあるが、まだ具体的でないという方は、ぜひ、この1ヶ月のインターンシップを通して、そこでしか気づけないことをたくさん経験し「自分の将来の可能性」をもっと広げて欲しい。

**伊井さん**

琉球大学
観光産業科学部 3年次
派遣先 ベトナム(ダナン)
研修先 旅行

『キッカケから行動へ』

私は、大学で観光を勉強していたので、漠然と観光関連の道に進むのだろうと思っていた。しかし、海外インターンを経験し、本当に自分のやりたい事を深めたほうが、将来の自分にとってスキルにもなり、より成長できる事に気が付いた。

1ヶ月のインターンでは、私の思っていた以上に多くの業種を体験させてもらった。その中で、デザイン・ロゴ作成の仕事を経験し大変興味を持ったので、今後、絵や文字のデザインを通して、自分を表現して行く事にも積極的に取り組んでいきたいと思った。

**島袋さん**

琉球大学
法文学部 2年次
派遣先 シンガポール
研修先 出版・イベント

『キャリアウーマンになる!』

研修先の社員は、営業先で自社の商品やサービスを上手にプレゼンし、会議では、どうしたら売り上げを伸ばせるか自分の意見をしっかり発言する。仕事には常に責任が伴い、顧客とは信頼関係が大切であることを学んだ。

知識や経験が豊富で、仕事を楽しみながら動いている方々と1ヶ月間一緒に働いて、私も「こんな風になりたい」、「カッコいい」、「大変そうであるがやりがいがある楽しそう」と思えるようになった。残りの少ない学生生活、なりたい自分になるために、高い意識を継続し勉学等に取り組んでいきたい。

**前原さん**

名城大学
国際学群 4年次
派遣先 マレーシア
研修先 ランゲージセンター

『挑戦に満ちた1ヶ月』

私は、マレーシアの日本語学校で1ヶ月間、日本語教師としてインターンシップをしました。そこで、の主な業務は先生方の日本語授業の見学、掲示物の作成と張り替え、日本語授業の受け持ち、日本文化にちなんだイベントの企画と運営、日本語スピーチコンテストのイベントにも参加した。

研修を通して、自分自身に自信をもてるようになり、挑戦することでできることが増え、できることが増えていく楽しさも知ることができました。

参加で迷っている方へ、軽い気持ちでもいいので、ぜひ参加してみたらいかがでしょうか。

**神谷さん**

沖縄大学
人文学部 4年次
派遣先 ベトナム(ホーチミン)
研修先 不動産コンサル

『グローバル人材へ近づけた研修』

私が研修を通して成長したことは、将来のビジョンをクリアにすることができたことでした。これから私が何をすべきかを明確にでき、そのモチベーションも上がりました。

また、人脈の大切さも知りました。私自身が好印象を持てるようにマナーなどを意識することや沢山の人の受け入れられるように寛容になること、さらに困っている人には、いつでも助けられるようウェルカムパーソンになることも求められる。そのような人物を目指して、これからも成長し続けたいと思う。

**島袋さん**

沖縄国際大学
総合文化学部 3年次
派遣先 ベトナム(ホイアン)
研修先 日本料理店

『結果を出すために』

研修先は、開店間もない日本料理店だ。私のミッションは、Facebookでレストランの宣伝を行い1ヶ月間で500人の【いいね】を獲得することだった。そのインターンの中で学んだことは、物事をやり遂げる上で大切なことは、「ただ頑張る!」ではなく、「結果を出すために、どう頑張るか?」が重要であるということだ。

目標設定では、一つのやり方にとらわれず試行錯誤を繰り返し、「常に変化に対応できるようにすること」が大事だと気付いた。研修先では、どのような仕事が与えられても、それをモノにするかは自分次第。すべての経験が自分の将来に繋がっている。

**石川さん**

沖縄国際大学
法学部 3年次
派遣先 マレーシア
研修先 飲食・店舗開発コンサル

『自分を責めず、相手を責めず、問題を攻めよ!』

研修前の私は、何を始めるにしても失敗することが怖くて行動できないことばかりでした。しかし、海外研修を通して「まず行動する!」という考え方に変わった。

研修後は、精神的にも強くなり自分の意見を否定されることを恐れなくなった。また、与えられた環境に愚痴や不満を言うのではなく、自分自身の問題(考え方)を改め、主体的に行動できるようになった。事前研修で学んだ「自分を責めず、相手を責めず、問題を攻めよ!」の意味がやっと理解ができた。

1ヶ月間あつという間、その限られた時間だからこそ何かを成し遂げたいと思えるし何ひとつ無駄がない。帰国時には、挑戦した自分が誇らしくなると思う。

海外中期インターンシップ Q&A**Q1 海外中期インターンに参加した学生の「動機・課題」は何ですか?**

- A1**
- ①海外で働くことを経験し、自分の知識や視野を広げたい。
 - ②3年生になったので、具体的な将来像を描きたい。
 - ③大学で学んでいることが、海外で通用するのか確認したい。
 - ④英語でのコミュニケーション能力や社会人基礎力を向上したい。
 - ⑤就職活動をする上で、今の自分に足りないことは何なのかを知りたい。

Q2 海外中期インターンに参加後、何か変わったのでしょうか?

- A2**
- ①自己の課題を見つけ、計画的に改善する力を身につけることができた。
 - ②自分の生き方を見つければ、働く職種は自ずと見えてくることに気付いた。
 - ③ビジネスマナー、仕事の責任感、チームワーク、課題解決力を学んだ。
 - ④自分の殻を破れただけではなく、自分に自信が持てるようになった。

Q3 海外中期インターン先企業の選定は、どのように決めるのですか?

- A3**
- ①研修生の希望職種などを聞いて、事務局にて受入先企業を提案します。
 - ②受入先企業に履歴書を送付し、スカイプ面談後に最終決定します。

Q4 海外に行くまでのプロセスを教えてください

- A4**
- ①受入企業決定後、研修期間を決定し、ビザ手配等を事務局で支援します。
 - ②受入企業や現地サポーターと調整し、宿泊先を事務局で手配します。
 - ③研修生が航空券を手配後、海外旅行保険の手続きを事務局で手配します。
 - ④事前研修において、海外渡航の注意事項等を行います。
 - ⑤詳細については、事業説明会にて資料を配布します。

Q5 今までの研修生は、海外に一人で行く不安はなかったですか?

- A5**
- ①海外では、日本語のできる現地担当者が研修生をサポートします。
 - ②海外渡航後、最初に現地サポーターとの面談を行います。
 - ③海外での個人行動が苦手な方は、チーム研修を行う短期をお勧めします。